令和３年４月２７日
担当：教育部こども課
４１－３１５０内線３５５

市内保育園等の年度当初の待機児童が「2年連続でゼロ」になりました

共働き家庭の増加などによる保育需要の高まりを背景に、当市では平成28年度以降、年度当初から待機児童が発生しておりました。

そこで、待機児童解消を当市の重要課題と位置づけ、法人等が行う施設整備に対する支援に積極的に取り組み、平成28年度から5年間で保育施設を12か所増やすとともに、保育施設で働く保育士を確保するため、様々な支援制度の充実にも努めてまいりました。その結果、年度当初の待機児童が令和2年度から２年続けてゼロとなりました。

待機児童数と保育定員の推移

区分	H29.4	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4
待機児童数	17	30	26	0	0
認可保育所数	37	39	43	46	47
保育施設定員数	2,262	2,239	2,429	2,456	2,424

平成29年度以降の施設整備等の実績

平成29年４月から令和２年４月までに、保育所、認定こども園、小規模保育事業所の新設及び既存施設の増築等により、保育定員を162人分拡大することができました。

①施設整備等による定員の拡大

【内訳】保育所・認定こども園の新設　4園　185人
私立幼稚園の認定こども園移行　1園　60人
既存保育施設の定員増　3園　51人
小規模保育事業等の新設　8園　106人　計402人

②既存保育施設の閉園等による定員減少　▲240人

③保育定員の実増減（①－②）　162人

保育士確保のための支援制度

制　度	概要・支援（助成）内容	平成29年から令和2年度までの支援実績
保育士等復職支援	市内の保育施設等に再就職を希望する保育士等へ職場見学や職場体験を無料で提供し、復職に向けた支援を実施	登録96人 うち再就職84人
保育士等再就職支援金貸付	市内の私立認可保育所等に再就職する保育士に、再就職支援金を貸付（貸付金10万円、1人1回まで、1年間勤務で変換免除）	貸付68人
保育士等保育料補助	市内の私立認可保育所等で週20時間以上勤務する保育士に、子どもを認可保育所等に預ける場合の保育料を助成（保育料の月額から第１子は10,000円、第2子は5,000円を助成）	対象保育士延べ268人（第１子延べ237人・第2子延べ96人）
保育士等家賃補助	市内の私立認可保育所等に勤務する保育士に住居を賃貸する場合の家賃を助成	延べ29人（H30年度事業開始）
保育士等奨学金返済支援補助金	奨学金を返済しながら市内の私立認可保育所等に勤務する保育士等の奨学金の返済の一部を補助	延べ170人（H30年度事業開始）

今後の課題

年度当初の待機児童は解消しましたが、年度の後半にかけて利用申込児童数が増加し、待機児童が発生する状況があります。これは、施設整備により保育定員は増加したものの、保育士不足により十分な受入れができないことが要因であることから、引き続き保育士の確保に努め、入所可能人数の増加を図ってまいります。